

## 歴史 [編集]

当駅は、新橋 - 横浜間開業の4年後に開業した非常に歴史の古い駅である。元々は線路の保守点検を行う工夫の詰所であったが、それが不要になり駅舎に転用された。京浜間の電車運行開始後は客車列車の通過が増え、昭和初期に停車がなくなり電車専用の駅となった。その後も列車線ホームは長い間残っていたが、駅の改築に伴って1984年(昭和59年)までに解体された。その名残りで、列車線上り線路と下り線路の間隔が少々広く、広告ボードが設置されている。

- 1876年(明治9年)6月12日 - 官設鉄道の駅が開業。旅客営業のみの旅客駅。
- 1877年(明治10年) - 上り列車で横浜から新橋へ移動中のエドワード・S・モースが当駅発車直後の左車窓に大森貝塚を発見。
- 1879年(明治12年)3月1日 - 大森-川崎間が複線化。
- 1880年(明治13年)11月14日 - 品川-大森間が複線化。
- 1898年(明治31年)4月1日 - 貨物の取り扱いを開始。
- 1901年(明治34年)2月1日 - 京浜電気鉄道(現在の京浜急行電鉄)大森停車場前 - 八幡駅(現在の大森海岸駅)間の大森支線が開通。
- 1913年(大正2年)2月 - 山王口改札(現在の西口)開設。
- 1914年(大正3年)12月20日 - 京浜線(京浜東北線の前身)運行開始。
- 1919年(大正8年) - 山王口改札(現在の西口)拡張。
- 1930年(昭和5年)3月15日 - 列車線は全旅客列車が通過となる。
- 1930年(昭和5年) - 大森駅 ~ 池上駅間に乗合バス開通。
- 1937年(昭和12年)3月8日 - 京浜電気鉄道大森支線が廃止。
- 1959年(昭和34年)12月 - 北口改札開設。
- 1974年(昭和49年)10月1日 - 貨物の取り扱いを廃止。
- 1977年(昭和52年)9月 - 大森貝塚発見発掘100周年を記念し、駅ホームに「日本考古学発祥の地」碑が建立される。
- 1982年(昭和57年)7月 - 駅舎改築工事着工。
- 1984年(昭和59年)
  - 7月 - 現駅舎完成。
  - 9月14日 - 駅ビル「大森プリモ」(現在の「アトレ大森」)開業。
- 1985年(昭和60年)4月 - 品川区と大田区の共同事業「大森駅歩道橋」(北口改札から東側(南大井方面)へ下りる自由通路)完成。
- 1986年(昭和61年)11月1日 - 荷物取り扱いを廃止。
- 1987年(昭和62年)4月1日 - 国鉄分割民営化によりJR東日本の駅となる。
- 1989年(平成元年)3月10日 - 北口階段拡幅完成(ホームを南寄りに延伸するため、工事車両留置線(荷物ホーム跡)を撤去)。
- 1990年(平成2年)3月20日 - 旅行センターオープン。
- 1994年(平成6年)3月16日 - ホームから中央口改札への上りエスカレータ設置。
- 2001年(平成13年)7月 - 中央口コンコースにて第1回「大森夢コンサート」開催。

- 2001年(平成13年)11月18日 - ICカードSuica供用開始。
- 2002年(平成14年)12月13日 - 中央口改札からホームを連絡する下りエスカレーター設置。
- 2003年(平成15年)2月7日 - ホームと中央改札口を連絡するエレベーター設置。
- 2005年(平成17年)11月15日 - 駅ビル「大森プリモ」のリニューアル完成。「アトレ大森」に改称。
- 2009年(平成21年)8月31日 - 大森駅歩道橋が右側通行から左側通行に変わり、駅構内と統一される。